

夏季高温条件下におけるサインゲンの 高温耐性品種「ナリブシ」の収量性

福島県農業総合センター 会津地域研究所

1 部門名

野菜－サインゲン－会津平坦

2 担当者名

中村陽登、芳賀紀之、大寺真史、野田正浩

3 要旨

会津地域におけるサインゲン生産は、夏季の高温により生産量が不安定な状況が続いており、その対策が求められている。そこで、所内ほ場（会津坂下町）において高温耐性品種の「ナリブシ」を栽培したところ、高温年の夏季（8～9月中旬）の収量は、「いちず」よりも多かった。

- (1) 本試験は、防虫ネット被覆栽培で白黒ダブルマルチを用い、6月6日に播種、6月20日に定植したもので、収穫期の2025年7～9月の平均気温は、平年と比較して1.8℃高く推移した（図1）。
- (2) 「ナリブシ」は、主要な品種である「いちず」と比較して、夏季の主枝長が長く、主枝節数が多かった（表1）。
- (3) 開花始めは「ナリブシ」が7月10日、「いちず」が7月14日であった（データ省略）。
「ナリブシ」では多少の花落ちが見られたものの、8月後半にA品、B品を収穫できたが、「いちず」では花落ちにより、収量がごく僅かだった（図2）。

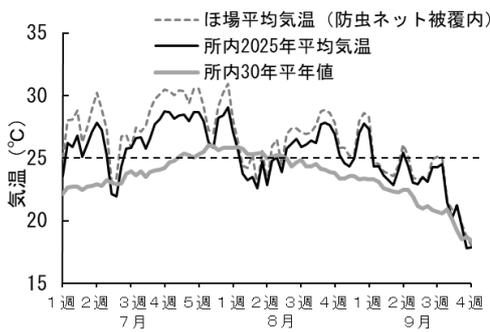


図1 平均気温の推移

表1 品種による地上部生育

品種	7月9日		7月22日		8月20日 [※]
	主枝長(cm)	主枝節数(節)	主枝長(cm)	主枝節数(節)	主枝節数(節)
ナリブシ	194.5	16.3	264.5	21.5	25.7
いちず	133.0	14.3	191.7	19.6	27.7

※ 主枝は8月上旬に摘芯

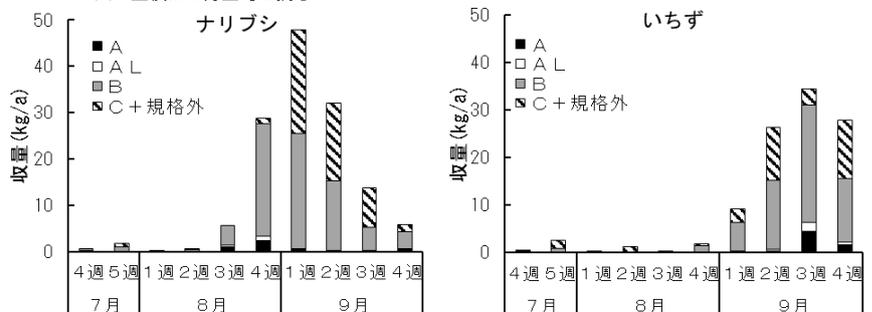


図2 規格別収量（左：ナリブシ 右：いちず）

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和7年度
- (2) 研究課題名 会津地域に適した作物、園芸品目等の生産技術の確立

5 主な参考文献・資料

- (1) 国際農林水産業研究成果情報－耐暑性が高い丸莢のインゲンマメ新品種「ナリブシ」、2006年、国際農研